

令和4年度金谷中学校グランドデザイン



《金中ミッション》「自立 貢献」
 〈重点目標〉自ら考え 判断し 行動する生徒

＜学校データ＞
 ・学級数17クラス
 (普通15、特支2)
 ・生徒数 470人
 ・教職員数 43人

《金中ミッション (教育理念)》 「自立 貢献」

- ・「自立とは、多くの人に適切に依存しながら、試行錯誤の中で自分の人生を築いていくこと」
- ・「貢献とは、よりよい学校 (社会) のために互いの力を出し合って協働すること」

金中生活のあらゆる場面で、生徒が自分で考えて、判断して、行動できるように働きかけます。society5.0の時代を迎え、グローバル化や情報化がさらに進み、実に先行き不透明で、変化の激しい時代となります。誰しもが共通してできることは、AIやロボットに替わっていくので、これからは同質性を重んじるだけではありません。自分自身の強みをもつことが大切です。そして、他の人のもつ強みと掛け合わせて、創造的な活動を行うことが必要です。先行き不透明な時代に生きる中で、変化に対応できる生徒、ではなく変化を創れる生徒になってほしいと思います。

ですから、金中生には、絶えず学び続け、失敗を恐れず、果敢に挑戦する「トライアンドエラー」を推奨します。何事にも挑戦できない、常に他人の評価を気にする、いわゆる「他人の人生」を歩むことのないように働きかけます。自分自身の中にある良さを見つけ、それを絶えず磨きながら自分らしく生きてほしいと願います。そんな金中生を職員全員で支え、応援します。

「自立貢献」のために

教職員は

生徒は

○生徒一人一人の自己実現を支援します。

「指導の個別化」「学習の個性化」を図り、主体的な学びを引き出すよう努めます。

○金中生活を「自他の良さを互いに生かしながら協力して生活できる」場にします。

キャリア教育の推進

- ①人間関係形成・社会形成能力
- ②自己理解・自己管理能力
- ③課題対応能力
- ④キャリアプランニング能力

○セフティネット (安全網) を構築します。

授業は大事。でも、いじめは命に関わる問題。授業より、命が大事。デジタル・シティズンシップ教育を推進します。

オーナーシップを基盤に、金中生活「さしすせそ」を金中の誇りに！

- さ 爽やかな「あいさつ」
- し しびれる「合唱」
- す 素早い行動「時間を守る」
- せ せつせと「清掃」
- そ そっと手助け「役立つわたし」

まずは「自助」が大事。「自由には『未来の自分』への責任が伴います」



《金中ビジョン (学校経営目標)》 4つの戦略

戦略1 新学習指導要領の理念を教育活動に落とし込む
全ての活動を「自ら考え 判断し 行動する生徒」を目指したものにします。

そのために教職員は…

「大事なことは繰り返し、なぜそうなのかわかるように伝えます。」
 「そうすることの有意性を伝え、**生徒自身に意志をもたせ**ます。」
 「ちょっとした変化を見逃さず、褒めます、叱ります。」
 ICT環境整備に努め、生徒の学びをサポートします。

戦略2 社会に開かれた教育課程に近づける
保護者・地域との絆を深める。

子どもの夢や地域愛を育む「**夢育・知育**」を核に、「コミュニティスクール」を導入し、「信頼される学校づくり」を推進する。
 番生寺会館、みんくるにおける「よりみちまなび」の実施等。

戦略3 特別支援教育・合理的配慮を推進する
報告は関係者全員で共有する。

けやきルームは「学びの保健室」。①「居場所」、②「常駐の教職員」、③「カリキュラム」を整えます。ネット環境とデバイスを整備、自学 (eboard、スタディサプリ、Qubena等) がけやきルームでも、自宅でもできる環境を整える。

戦略4 働き方について考える

先生のHappyが子どもの笑顔をつくる。

教職員の**和を大切**にする。何事にも好奇心旺盛で**学び続ける教職員として互いに刺激**し合う。
 「生徒のために」でGOサインを出さない。そもそも教育活動はすべて生徒のためになるものだから。